SAILING CROSSOVER

ELAN E5

「ELAN(エラン)」といえば、スキーやスノーボードメーカーとして有名な、スロベニア発のスポーツブランドのイメージが強い。だが、ELANグループは、競技設備のELAN Inventaや、風力発電など複合素材の開発を行うELAN Compositesなど成長分野の企業を多く持つコングロマリット。そして、セールボートやパワーボートを建造するNautical DivisionはELANグループの中心的事業だ。そのELANが建造するセールボート「ELAN E5(エランE5)」。デザインは、イギリスの名門ビルダーOYSTERやモーターヨットのデザインも手掛けるRob Humphreys。その特徴は、スポーティな走りとラグジュアリーなデザインの融合。セカンドボートとして、PerfectBOAT誌的セールボートとして、紹介したい一般なのだ。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada special thanks: OKAZAKI YACHTS https://okazaki.yachts.co.jp

ワールドクラスのデザインに、安全で快適なコクピットとサロン空間 水上での休暇を愛する家族にアピールする、クルージングとレーシングヨットのクロスオーバー

スウェーデン出身のスキーヤー、インゲマル・ステンマルクを覚えているだろうか? 1980年に開催されたレークプラシッド冬季オリンピックのスキー競技で活躍した、スラロームとジャイアントスラロームのゴールドメダリスト。そして、FISワールドカップの通算優勝回数では、2位に19差をつけ86回という前人未到の記録を打ち立て「史上最強の天才スラローマー」と言われたレジェンドだ。「ELAN(エラン)」は、ステンマルクのデビューから引退までのスキーをサポートし、世界的な認知度と成功を手にした。

また、スキージャンプでも、男女合わせた通算優勝回数でダントツの63回、表彰台登壇回数でも男女トップの115回という驚異的な成績を残し、現在も現役を続ける高梨沙羅のスキーも以前はELANがサポート。2016年を最後にジャンプ用スキーの開発からは撤退したが、Winter Sports Divisionとして、ジャンプ以外のスキーやスノーボードの開発を続けている。他には、競技設備を総合的に開発するELAN Inventaや、風力発電など複合素材の製品開発を行うELAN Composites、そして、セールボートやパワーボートを建造するNautical Divisionをグループの主軸の一つとして展開をしている。

ELANの設立は、スロベニア民主化のずっと以前、第二次世界大戦後の1945年。ドイツ侵略から解放され、社会主義下のユーゴスラビア連邦

の一員となったスロベニアで、パルチザン軍のスキー板を製造する国営企業Workers' Ski Cooperative (労働者スキー協同組合)として創業。1949年からは、カヌーやカヤックなど小型ボートを製造。その後、複合素材の製造技術を活かしセーリングボートやモーターヨットの建造を始めている。スロベニアの独立後、国営企業から民営化し発展することができた唯一の国際的企業として引き継がれているのだ。



ELANの設立は古く、1945年に遡る。スキー板を製造する国営企業として創業、その後、複合素材の製造技術を活かしてセーリングボートやモーターヨットの建造を始めた。1990年代からは Humphreys Yacht Design がブリンシバルデザイナーを務め、ELANの社内エンジニアリングチームと協力し、デザインしている。

「ELAN E5 (エランE5)」のシートライ

アルは、5~6m/sのガスティな北東風が吹く横浜ベイサイドマリーナ沖。 メインセールとジブセールを全展開。時折、強いブローが入り大きくヒー ルをするコンディションの中でセーリングを楽しんだ。風上に向かうクロー ズホールドでは、安定して8~9ノットをキープする帆走性能。低重心で 腰が強く、剛性が高くソフトライド。ヒールが大きくなってもツインラダー







が水を捕らえ、ヘルムはニュートラル。ラット(ステアリングホイール)を軽く操作するだけでヘディングをキープする。また、シート類の取り回しや収納、ウインチのレイアウト、ヘルムポジションなど、ディテールまで快適さが追求され、長時間のセーリングでもストレスを感じることはない。

そして、セーリングを堪能した後はボートステイ。ボートステイこそ ELANが選ばれる理由の一つだ。ELAN E5のエクステリアの特徴は、ワイ ドなオープントランサム。トランサムボードの一部を後方に倒せば、水面に 近いスイミングプラットフォームが現れる。コクピットやスイミングプラット フォームは、軽量でメンテナンスフリーのシンセティックチークに覆われ、 ラグジュアリーで機能的。もちろん、リアルチークに変更するオプションも ある。また、セーリング時以外はヘルムのフットレストを収納。ラット後方 のワイドなアフトデッキは、固定のベンチシートもない広くフラットな水上 テラス。ツインラットもコンパクトな片持ちスタイルで、キャビンとトランサ ムを往来するセンターのアクセスも良い。そして、ベンチシートに挟まれた コクピットの中央にテーブルをセットすれば、アウトドアダイニングやパー ティースペースとして使うことができる。



ワイドでフラットなオーブントランサムのアフトデッキ。トランサムの一部を開くとスイムブラットフォームが現れる。コクピットも広く、センターにはチークトップのコクピットテーブルをセットすることができる。

コンパニオンハッチから48°の緩やかな角度にセットされたステップでキャビンに降りる。スターボードサイドには、クラス最大のギャレー。ENOのジンバル式ガスコンロ&オーブン。使いやすいダブルシンクの下にはISOTHERMのリフリジェレーター。大型の保冷庫は、リフリジェレーターに変えることもできる。ギャレーの対面、ポートサイドにはヘッドコンパートメント。洗面スペースとトイレ&シャワーブースが分けられており、シャワールームとトイレは兼用。トイレをカバーする座面を下げると、座ってシャワーを使うことができる。トイレ清掃も兼ねる機能的なスタイルだ。

ギャレーやヘッドの左右後方には、ほぼ対称のクォーターバース。最大幅1,400mmのダブルベッド。ハンギングロッカーも備わる。また、センター側の壁に空けられた物入れ以外に、ハルサイドの少し高い位置にはロングシェルフも。バッグや小物などを置くことができ、ヒールをしても荷物が脱落することはないよう深く作られている。また、ハンギングロッカーの前には、310mm×800mmと奥行きのない小さなクッションチェア。くつろぐタイプではないが、腰を下ろし、体を支えることができる。両手が使え、揺れる中での着替えも安全に行うことができる。



パウキャビンには最大 1,900mm 幅のアイランドベッド。左右のクォーターバースはダブルサイズ。どちらも収納スペースが多く、ボートステイを快適に過ごすことができる。パワートレインは 40 馬力の VOLVO PENTA D2 エンジンとセールドライブ。コンパクトで低燃費、低ノイズの環境対応ディーゼル。

